

# 令和3年度当初予算 「『清流の国ぎふ』づくり ～県民の生命を守り、新しい日常を創る～」

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
<b>① 未来を支える人</b> (地域や企業等と連携したふるさと教育の展開) ○ふるさと教育の推進 ◎スーパー・インクワイアリー(探究)・ハイスクールの推進 ◎中学生と高校生を対象にしたキャリア教育の実施 ○全ての県立学校への学校運営協議会の設置 (地域の声を反映した産業教育の展開) ◎花の担い手育成拠点となる「(仮称)花と緑の振興センター」の設置準備 ◎小学校など教育機関等における森の体験プログラムの実施 ◎農業大学校における畜産の飼養衛生管理を学べる環境の整備 ◎ぎふ木遊館開館1周年を記念した木育プログラム等の開催 ◎森林文化アカデミー公開特別記念授業等の実施 (教育環境の充実) ◎就学前聴覚障がい児に対する支援の実施 ○重大事態の未然防止に向けた「学校いじめ対策チーム」の編成 ○いじめ等の問題行動への対応充実に向けた小中学校教員の増員 ◎県立高校における定期試験等のデジタル採点システムの導入 ◎部活動の地域移行とICT活用に向けた研究の実施 ○小学校における少人数(35人)学級の計画的実施(教職員定数) (グローバル社会に対応した教育の展開) ○県立高校におけるALTの増員 ◎外国人児童生徒に対するキャリア教育の実施 ○外国人への日本語教育機会の提供体制の整備
<b>② 誰もが活躍できる社会</b> (障がいがある人もない人も共に活躍できる社会の確立) ◎電源を要する在宅重度障がい児者の非常用電源装置等整備への支援 ◎難聴児の早期支援に向けた難聴児支援センターの設置 ◎第24回全国障害者芸術・文化祭の開催準備 ○民間企業と連携した認知症の方の就労支援の実施 (年齢、性差、国籍に関わらず活躍できる社会の確立) ◎介護事業者による外国人介護人材受入時の日本語学習実施への支援 ◎市町村と連携した就職氷河期世代への支援 ○WLB推進エクセレント企業の拡大のための業種を特化した講座の開催 ○在住外国人や障がい者の消費者被害防止に向けた相談体制の強化

「◎」は新規事業 「○」は拡充等

新型コロナウイルス感染症対策事業、SDGs関係事業については、別葉も参照

2 健やかで安らかな地域づくり
<b>① ウイズコロナ～新型コロナウイルス感染症から県民を守る～</b> (医療・福祉提供体制の確保) ○病床・宿泊療養施設・後方支援病床の確保 ○検査体制の確保・高齢者施設の予防的PCR検査の実施 ○入院・診療体制の強化 ◎在宅オンライン診療設備整備や福祉分野のICT化の支援 (感染拡大防止対策の推進) ◎ワクチン接種体制の構築 ◎飲食店への高機能換気設備の導入支援 ○福祉施設・学校等の感染拡大防止対策の支援等 (県民生活の安定、中小企業の支援・雇用確保) ○緊急小口資金・住居確保給付金の確保 ○生活困窮者の相談体制や自殺予防対策の充実・強化 ○コロナ・ハラスメントの徹底防止 ○中小・小規模事業者への金融支援 ◎離職者の再就職の促進 ○雇用の維持に向けた人材マッチングの支援 ◎広域路線バスの密を回避した運行への支援
<b>② 健やかで安らかに暮らせる地域</b> (子どもを産み育てやすい地域づくり) ◎医療保険が適用されない不育症検査に係る費用への助成 ○結婚、妊娠、出産、育児をしやすい地域づくりへの助成制度の拡充 ○子育て支援手帳を活用した低出生体重児等の保護者への支援の充実 (医療・介護サービスの充実) ◎中高年齢者等介護助手(ぎふケアパートナー)の育成から就業までの支援 ◎認知症当事者から任命する「希望大使」によるピアサポート活動の促進 ○複数病院間の連携検討への支援 (全世代の生きがい・健康づくり) ◎ネット依存傾向のある児童生徒への依存対策キャンプ等の実施 ○依存症対策の普及啓発、相談支援等の強化 ◎クロバネキノコバエの実態調査等の実施 (貧困からの脱却支援) ○市町村と連携した里親の確保や養育支援の実施 ○児童養護施設退所者等の退所後の生活支援に対する補助制度の拡充 ○子ども宅食事業の開設・運営に対する補助制度の拡充 (虐待・家庭内暴力防止と被害者の支援) ◎要保護児童の状況把握能力向上に向けた子ども相談センター業務システムの改修 ◎客観的聴取技法習得等による虐待被害児童に対する支援の強化 ◎若年層の性暴力被害の潜在化防止に向けたSNS相談窓口の設置 (犯罪・交通事故防止の推進) ◎街頭防犯カメラを設置する自治会や民間事業者等への助成制度の創設 ◎特殊詐欺被害防止に向けた市民劇団による寸劇や体験型広報の実施 ◎犯罪被害者等支援のための計画の策定
<b>③ 誰もが暮らしやすい地域</b> (生活を支えるインフラの整備) ○名鉄名古屋本線高架化事業の都市計画事業認可に向けた調査の推進 ○東海環状自動車道西回り区間の整備促進 ○防災・減災、県土強靱化に向けたインフラなどの整備 ◎地域公共交通の活性化・再生に向けた地域公共交通計画の策定 (災害と危機事案に強い岐阜県づくり) ◎災害時の迅速な支援に資する孤立予想集落情報の一元化 ◎災害時専門ボランティアの受入体制の整備等に対する助成 ◎多様な人材を活用した消防団機能別分団創設への支援強化 ◎飼養衛生管理の更なる強化に向けた養豚農場への外部専門家の派遣 ◎防疫対策等に必要スキル習得のための獣医師の研究機関等への派遣 ○災害対策の中核拠点である新県庁舎の建設 ○畜産研究所、飛騨家畜保健衛生所の整備による家畜防疫体制の強化

3 地域にあふれる魅力と活力づくり
<b>① アフターコロナ～新たな日常を見据えた岐阜県を創る～</b> (デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進) ○行政のデジタルトランスフォーメーションの推進 ◎中小企業や商店街等のデジタルトランスフォーメーションの支援 ○中山間地域等におけるスマート農業機械等整備への支援 ◎文化芸術活動のデジタル配信等の支援 ○学校教育のデジタル化の推進 (新次元の地方分散) ○サテライトオフィスの誘致 ◎ワーケーションの推進 ○デジタルシフトに呼応した移住・定住施策の実施 (経済・観光のリスタート) ◎創業間もない企業や事業転換に意欲的な企業への支援 ◎アフターコロナに対応した商品開発等への支援 ○地場産品・農林畜水産物の販路拡大や販売促進の強化 ◎国内外からの誘客に向けたデジタル技術の活用 ◎サステイナブル・ツーリズムの視点に立った観光地づくり ◎「安心ステイ ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーンの展開
<b>② 地域の魅力の創造・伝承・発信</b> (「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承) ◎「第39回国民文化祭」の開催準備 ○「第48回全国高等学校総合文化祭」の開催準備 ◎ぎふ清流文化プラザにおける伝統芸能公演のための大道具等の整備 ○「清流の国ぎふ 2020地歌舞伎勢揃い公演」の開催 ○「エンジン01 in 岐阜」の開催 ○清流の国ぎふ芸術祭「第3回ぎふ美術展」の開催 (「スポーツ立県・ぎふ」の推進) ○東京2020大会参加国の事前キャンプ受入れ、ホストタウン交流事業の展開 ○聖火リレー、パブリックビューイングによる東京2020大会の盛り上げ ○「ねりんピック岐阜2021」の開催 (美しく豊かな環境の保全・継承) ◎海岸漂着物等の発生抑制を推進するための地域計画の策定 ◎温室効果ガス排出削減に向けた県有施設の電力再エネ化の推進 ◎住民と協働で実施する気候変動に関する調査・分析の実施 ◎サステイナブル社会推進に資する製品等の開発 ◎世界農業遺産を未来に守り伝える取組みの加速 ○中部山岳国立公園の施設整備の推進
<b>③ 次世代を見据えた産業・農林畜水産業の振興</b> (産業を支える人材の育成・確保) ◎公共施設の建築に係る木材利用促進のためのマニュアルの作成 ○建設ICT人材育成センターにおける研修の充実 ○県立高校建築系学科におけるBIM体験講座等の実施 (観光産業の基幹産業化) ○戦国武将観光の推進 ○「リトアニアNOW2021」開催等による交流の促進 ◎リニア中央新幹線活用戦略のブラッシュアップ ○県営都市公園の活性化の推進 (「未来につながる農業づくり」の推進) ◎ぎふ清流GAPの認知度向上に向けたPRの推進 ◎ブランド力強化・担い手確保に向けた栽培技術、県オリジナル品種の開発 ◎6次産業化に向けた商品開発に必要な施設整備への支援 ◎地域食農連携プロジェクトを通じた持続的なビジネス創出への支援 ◎農作業分業化に向けた経営モデル作成等による生産現場への普及推進 (100年先の森林づくりの推進) ◎森林情報の共有化に向けた岐阜県森林クラウドシステムの構築 ◎市町村森林管理支援センター(仮称)の設置 ◎林業労働災害の未然防止に向けたレスキュー訓練の実施